

ステータス:	終了	開始日:	2008/05/17
優先度:	通常	期日:	2008/05/18
担当者:		進捗 %:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:		作業時間の記録:	0.00時間
説明			
状況(2008.05.18)			
V5.36で対処済み。			
(原因)V5.35でシーク処理を全面的に改良したが、その際N R P N / R P Nの波形加工値制御において、全メンバーを1つのフラグで管理していたため、複数のメンバーが絡むと最適化による不要メッセージの送出抑止が過度に働き、必要なメッセージも止められていた。			
(対処)波形加工値制御のフラグを16メンバー独立で設け、適切な抑止処理となるよう修正。 また今回の対処に伴い、ハード音源にも許容できる範囲でシークのインターバルを低減させ、より高速にシークできるよう改善した。			
概要(2008.05.17)			
Museのver.5.31では問題ないが、ver.5.35で以下の記述を途中再生するとメンバーAが正しく再生されない。			
#A0 @Q=64._8@Q=10. #A1 _d #B0 @Q=.64 #B1 s			
更に、コンパクトにすると以下でも再現する。			
#A0 @Q=64._8 @Q=10._8 d4 #B0 @Q=.64 s4			
ただし、Bメンバーを休符にすると再現しなくなる。 また、Aメンバーで冒頭の@Q=64.を指定しないと再現しなくなる。 更に、Aメンバー行とBメンバー行の記述順を入れ替えても再現しなくなる。			
なお、Roland系では上記の不正を聞き取りにくく、YAMAHA系では聞き取りやすい。 <確認しやすい音源> ・YAMAHA AC-XG WMD XG Symth ・YAMAHA SXG <確認しにくい音源> ・Microsoft GS Wavetable SW Symth ・Roland VSC ・WinGroove			
関連するチケット:			
関連している Release # 116: Muse V5.35		終了	2008/04/27